

平成24年度 指定管理者制度モニタリング指標 (八王子市夢美術館)

基準番号	モニタリング基準	モニタリング項目	細目番号	モニタリング細目	確認資料	確認方法	達成状況		
施設	施設の管理運営を安定して行うことができる実績及び能力があるか	団体の経営方針が明確であり、きちんとした経理がされていること	1	管理業務の実施に係る銀行口座を開設しているか	・銀行口座	担当者によるヒヤリング	○適正である 適正でない		
			2	資金の適正な管理と経理内容の明確化が図られているか	・独立した会計帳簿	担当者によるヒヤリング	○適正である 適正でない		
			3	利用料金、使用料の徴収は適正に執行されているか	・独立した会計帳簿 ・日報、月報 ・使用料等収納(徴収)事務委託契約書 ・銀行口座	担当者によるヒヤリング	○適正である 適正でない		
		収支計画が適正であること	4	収支計画が適正に執行されているか	・事業計画書(収支計画) ・事業報告書	担当者によるヒヤリング	○適正である 適正でない		
			5	業務を実施するにあたり、他市の類似施設と比較して効果的で効率的な勤務体制となっているか	・事業計画書(人員配置計画) ・事業報告書 ・他市類似施設の調査	担当者によるヒヤリング	○適正である 適正でない		
		管理運営がきちんとしてできる職員体制や研修体制がとれていること	6	計画的な研修実施に伴う人材育成がなされているか	・研修計画書 ・研修報告書	担当者によるヒヤリング	○適正である 適正でない		
			7	業務を行う上で、適切な意思決定や確認の方法がとられているか	・事業計画書(人員配置計画) 例:組織図、指揮命令系統図	担当者によるヒヤリング	○適正である 適正でない		
		8	施設管理運営を安定して行う能力を有しているか	業務の一括委託が行われていないか	・第三者への一部事務委託に関する承諾書 ・事業報告書 ・会計帳簿	担当者によるヒヤリング 実地調査	○適正である 適正でない		
	「施設の管理運営を安定して行うことができる実績及び能力があるか」に関するコメント	全国美術館会議の研修や町田市が中心となっている多摩ミュージアムネットワーク構想研究会に参加するなどして知識の習得、他市の情報を取得するなどに努め、施設の管理運営を安定して行うことができる能力があると思われる。							
施設	施設の公共性・公平性・公正性の担保が図られているか	利用者が公平に施設利用ができるよう、配慮されていること	9	開館日数、開館時間は守られていたか	・条例、規則 ・日報、月報 ・事業報告書	担当者によるヒヤリング	○適正である 適正でない		
			10	減免の申請手続がなされた場合、適正に処理されているか	・減免申請書 ・事業報告書 ・減免申請に係る帳簿	担当者によるヒヤリング	○適正である 適正でない		
			11	応募者多数の場合、抽選などのルールが整理され、適正に処理されたか(公募展など)	・マニュアル	担当者によるヒヤリング	○適正である 適正でない		
		12	施設の公共性、公平性、公正性について継続性が保たれているか	文書の管理・保存が適切に行われているか	・ファイル基準表(なければそれに準ずるもの)	担当者によるヒヤリング 実地調査	○適正である 適正でない		
	「施設の公共性・公平性・公正性の担保が図られているか」に関するコメント	障害者や小・中学生の観覧料免除は、申請書を要しないが、日誌に記録し適切に管理している。イベントへの応募者の抽選は、応募要件を満たしている方のみを公正に抽出している。文書の管理は、財団内で定めた保存年限を守り、必要なものは取り出せるように整理している。美工インターレの入選者の選考にあたっては、マニュアルを作成し、公正な投票が行われるよう、毎回見直しをしているなど、適切に対応しているため、今後も公共性・公平性・公正性の担保を図る努力を継続してほしい。							
施設	施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が優れているか	利用者の満足度を高めるための方策が講じられていること	13	利用者満足度調査の結果をもとに業務改善等を行い、具体的なサービス水準の向上を図っているか	・利用者満足度調査票 ・利用者満足度調査報告書 ・業務改善計画	担当者によるヒヤリング	○A	B	C
			14	利用者等からの相談及び苦情に適切に対応し、改善策を講じているか	・相談、苦情をまとめた整理簿等	担当者によるヒヤリング	○A	B	C
		利用者からの苦情処理の体制がとれていること	15	苦情等があった場合、適切に市へ報告しているか	・報告書	担当者によるヒヤリング	A	○B	C
			16	改善策を講じた後、利用者の満足度は高まったか	・利用者満足度調査報告書	担当者によるヒヤリング	A	○B	C
		業務実績が豊富であり、ノウハウを蓄積した運営が図られていること	17	施設の維持管理が計画的に行われ、施設のサービス向上が図られたか	・清掃 ・消防施設等の保守点検 ・整備 ・廃棄物の処理 ・案内表示板の状況 ・その他専門性を有するものなどの上記報告書	担当者によるヒヤリング	A	○B	C
			18	事業計画書に基づく情報の公開、広報が行われているか	・ホームページ等の更新状況 ・公開請求書	担当者によるヒヤリング	○A	B	C
	「施設のサービス向上、利用者の増加等を図る方策が優れているか」に関するコメント	JR八王子駅から夢美術館への道順が分かりにくいという声に対して、八王子駅北口の観光案内所にチラシを置き案内をしてもらうようにするなど、利用者からの要望、相談に対して、可能な範囲で対応しているように、施設のサービス向上については、利用者の声を活かした運営が行われている。利用者の増加を図る方策については、期末モニタリングでも述べたように大いに評価するが、残念ながら入館者数が思うように伸びなかったことから、次年度への期待を込めてB評価とした。							

基準番号	モニタリング基準	モニタリング項目	細目番号	モニタリング細目	確認資料	確認方法	達成状況		
	施設の効率的な管理運営が行われ、経費の縮減を図る方策が優れているか	収益を上げるための努力がされていること	19	収入を増加するためにどのような取り組みがなされ、どのような効果があったか	・事業計画書（事業計画・収支計画） ・事業報告書	担当者によるヒヤリング	A	B	C
		経費の縮減が図られた、又は考慮されていること	20	経費を軽減するためにどのような取り組みがなされ、どのような効果があったか	・事業計画書（事業計画・収支計画） ・事業報告書	担当者によるヒヤリング	A	B	C
	「施設の効率的な管理運営が行われ、経費の縮減を図る方策が優れているか」に関するコメント 消耗品の経費節減については標準である。電気使用量については、平成24年3月に省エネ診断のアドバイスを受け、空調管理会社と調整の上、運転使用を見直し、年間で前年度より13パーセント以上の削減効果を出していることから、引き続き、経費節減の工夫を期待する。								
	事業の達成目標と実施方針に基づいて事業が行われたか	地域との協働や連携が図られ、又は配慮されていること	21	地域、関係団体等との連携や協働は何件行ったか	・ヒアリング	担当者によるヒヤリング	A	B	C
		資源の有効活用など環境に配慮した管理運営がされていること	22	環境に配慮した取り組みをどう行っているか	・ヒアリング	担当者によるヒヤリング	A	B	C
		事業計画をきちんと立てておりノウハウを活用している	23	事業計画に基づいた行事は行われているか	・事業計画書（事業計画） ・事業報告書	担当者によるヒヤリング	A	B	C
		利用者の増加目標値などを設定しているか	24	利用者の増加目標値などを設定しているか	・ヒアリング	担当者によるヒヤリング	A	B	C
	「事業の達成目標と実施方針に基づいて事業が行われたか」に関するコメント 学園都市、中心市街地といった環境を活かし、大学、商店街など地域との連携事業も多く行っており、地域に貢献していると評価できる。電気使用量については、平成24年3月に省エネ診断のアドバイスを受け、空調管理会社と調整の上、運転使用を見直し、年間で前年度より13パーセント以上の削減効果を出したことについては、環境面で効果をあげており、継続的な取組を期待する。								
個人情報保護管理及び危機管理が図られているか	個人情報の取扱いが適切であること	個人情報の適切な管理のため必要な措置が講じられているか	25	個人情報の適切な管理のため必要な措置が講じられているか	・マニュアル ・事業計画書（事業計画） ・事業報告書	担当者によるヒヤリング	適正である 適正でない		
		指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか	26	指定管理者が加入しなければならない保険に加入しているか	・保険証券	担当者によるヒヤリング	適正である 適正でない		
		緊急（防火、防犯等）対応等危機管理体制がとられていること	27	事故や災害発生時の緊急時の対応が適正に行われたか。または、適正に行えるよう体制が整っているか	・マニュアル ・事業計画書（事業計画） ・事業報告書	担当者によるヒヤリング	適正である 適正でない		
	「個人情報保護管理及び危機管理が図られているか」に関するコメント 個人情報については、施設して管理しており、適切に管理されている。危機管理体制については、防災マニュアルはあるが、財団としてさらに進めたものを策定しているとのことであり、完成の暁には、さらに堅固な危機管理体制が完成すると期待する。								

【総合評価】

優れた美術品を身近なところで鑑賞できるようにする夢美術館のコンセプトを活かそうと、展示内容や関連イベントの企画に工夫を凝らしていることは評価できる。各展覧会ごとに広くPR、パブリシティを行い、各種メディアに取り上げられたものの、美エンナーレは開催年は、入館者数が通常の特別展と比較して伸び悩む傾向があり、累計入館者数の目標値に達していなかったことから、次年度に期待し、B評価とした。

しかし、新たな提案の企画を実現し、夢美術館の新たな魅力を発信し、新規の顧客層を開拓しようという意気込みは、以下のとおり大いに評価することである。夏休みに合わせて、学園都市の特色を活かした市内の美術大学との連携事業を実施し、これまでにない触れることのできる美術品を展示し、新たな美術品の楽しみ方を提案した。通常入館者数が少ない単独の常設展でも、イベントを同時開催することで入館者数を伸ばし、八王子のゆかりの作家の作品を多くの方に見ていただくきっかけを作った。

また、美術館は、室温や湿度に敏感な美術品を管理するという特殊な施設であるため、電気使用量の削減は難しいと思われていた。しかし、平成24年3月に受けた省エネ診断のアドバイスに基づき空調管理会社と調整して運転仕様を見直した結果、年間で前年度より13%を超える電気使用量の削減効果があったことは評価する。

引き続き、夢美術館のコンセプトを活かした施設運営を期待する。

S A B C D

施設名 八王子子夢美術館

記入者 学園都市文化課長

基準日 平成25年4月1日